名城公園「藤の回廊」と名古屋城天守閣(名古屋市)



# 令和4年度 愛知県 看護協会

# 重点事業

新型コロナウイルス感染症が続く中、それぞれの場で懸命に闘っていただいている看護職の皆さまに改めて感謝申し上げます。本会では昨年度に引き続き、県および名古屋市のワクチン集団接種会場への看護職の協力、医療機関や高齢者施設のクラスター発生時の感染管理認定看護師の派遣、軽症から重症のコロナ陽性患者へ対応できるため、本協会での看護職への教育研修等に取り組んで参ります。一方で、会員の皆さまにご活用いただくための従来からの協会事業についても全力投球で進めて参る所存です。

令和4年度は、昨年度の重点事業の成果を踏まえ、さらに地域の健康へ貢献すること、より看護職の質の向上と看護職の人材活用を目指して、以下の6つの重点事業に取り組んで参ります。

会員の皆さまのご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。

# 8888888888888888888888888888

- 地域共生社会を支える看護提供体制の推進
- 2 地域の危機管理体制の構築
- ③ キャリア開発と組織力の向上
- 4 看護職の働き方改革の推進
- 5 訪問看護総合支援センターの充実
- 6 看護経営における情報管理システムの構築

●事業計画にBSC(バランスト・スコアカード)の考え方を取り入れ、「学習と成長」「内部プロセス」「顧客」という3つの視点で戦略目標を挙げ、評価となる指標や目標値を明確にし、成果がみえる形で取り組む。

# 1 地域共生社会を支える看護提供体制の推進

# <mark>ॊ-┃</mark>ミ県民が望むACP(アドバンス・ケア・プランニング)の推進

高齢者を地域で支えるための「地域包括ケアシステム」を推進しつつ、困難を持つあらゆる人を地域で支えるための仕組みとしての地域共生社会を進化させていくことを目指し、小児から成人を対象として県民が望むACPを推進する。ACPの取り組みの拡大と並行して、県民を対象にした普及・啓発を行う。

# ●学習と成長の視点

看護職のACPの知識の向上を図るため、小児および成人の意思決定支援についての研修を行い、本人が望むACPについて学ぶ。研修の対象は地区支部役員、地区支部の病院の看護管理者、訪問看護ステーション看護管理者、看護職員とし、オンデマンドも行い、多くの看護職が学習できる機会を設ける。また、県民に対してもACPについて理解できるよう公開講座を開催する。

地区支部は、小児のACPを行う施設を1施設、成人のACPは地区支部圏内の半数の病院を選び、取り組み施設の看護管理者に説明会を開催する。多くの施設でACPに取り組む事ができるよう、昨年度作成したACPの運用手順の課題を整理し、成人(高齢者)のみでなく小児に対してもACPを推進できるよう運用手順を作成し説明する。

#### ●内部プロセス

地区支部で、小児のACPを行う病院1施設、成人のACPを行う病院はACP運用手順を基に1事例以上にACPを行い、患者の退院後は自施設の外来、転院先の病院、訪問看護ステーション、クリニック等と連携し、ACPを継続する。地区支部の進捗状況は8月、実施結果は12月の地区支部長会議で報告する。

県民が望むACPを推進するために、ACPを実際に体験した患者または家族の体験談を報告するシンポジウムを開催し、 県民が自身の望むACPについて考える機会とする。

# ●顧客の視点

アンケートにより、ACPを行った小児(家族)および成人(高齢者)患者の満足度、ACP実施施設の看護職の評価を行う。

# 2 地域の危機管理体制の構築

# 2-1 ※地域災害応援ナースの周知と教育

昨年度創設した「地域災害応援ナースの体制」の周知に努め、より多くの医療機関へ理解と協力を求めていく。登録いただいた 地域災害応援ナースを対象に学習会を実施し、全地区支部において関係機関と連携を取り実働訓練を行うことで有事に備える。

#### ●学習と成長の視点

病院看護職等を対象に災害時、地域における自院の機能や役割を果たすために研修会を開催する。

地域災害応援ナースを対象に派遣時の業務遂行のために役割の理解と知識の向上を目指して学習会を開催する。学習会は、地域災害応援ナースの多くが参加できるようオンラインだけでなく、オンデマンド配信をする。

昨年度、東三河地区支部で実施した実働訓練の課題を踏まえ、訓練方法を見直し、全地区支部が実施できるように実働訓練を 企画する。

#### ●内部プロセス

地域災害応援ナースの体制と役割を中心に本会の災害対策の取り組みについて説明会を開催し、地域で取り組む重要性を伝えることで、地域災害応援ナースの新登録施設を増やす。説明会の動画をホームページに掲載し、周知に努める。 令和4年度版実働訓練を全地区支部で地区支部役員、医療機関、地域災害応援ナース、行政機関等と連携し行う。

#### ●顧客の視点

地域災害応援ナース学習会と実働訓練の参加者による役割理解度にて評価する。

# 2-2┊医療機関の受援体制の整備

昨年度、地域災害応援ナースの活動を効果的に進めるためには、ナースの教育だけでなく、受け入れ病院の体制整備が急務との意見が多くあったため、病院における看護職の受援体制を整備する。

#### ●学習と成長の視点

災害時、病院における看護応援業務の受援体制整備を目指し研修を開催する。研修会の対象は、地区支部役員、地域災害応援ナース登録病院で受援体制を整備する立場にある看護職とする。

病院における看護職の受援体制整備を促進するために受援体制モデルを作成する。

#### ●内部プロセス

研修会受講者の病院において、受援体制モデルを基に自施設の看護職受援体制を整備する。

#### ●顧客の視点

受援体制整備に取り組んだ病院の看護職の理解度にて評価する。

# <mark>2-3</mark>ミ本会におけるBCP(事業継続計画)の策定と整備

本会の現状は「愛知県看護協会 災害対策要綱」を定め、大規模災害発生直後の対応と職員の役割を決め、災害支援ナースや応援ナースの派遣調整を行う体制を整えている。しかし、本来業務を時系列で継続させるBCPについては明確にしていないため、本会の災害時における優先業務を明確にし、BCPを策定する。

# ●学習と成長の視点

全職員がBCPについての知識を習得するために学習会を行う。 本会の災害時優先業務について時系列に整理し、災害初動時の机上訓練について企画する。

#### ●内部プロセス

災害時優先業務を決めBCPを策定し、全職員に周知し有事の本会の役割が果たせるよう準備する。 全部署が参加し災害初動時の机上訓練を実施し、有事の役割を理解する。

#### ●顧客の視点

全職員のBCPについての役割理解度により評価する。

# 3 キャリア開発と組織力の向上

# 3-1 ミナーシングNowチャレンジ 若手看護職 (35歳以下) のリーダーシップ教育の開発

ジェネラリストのリーダーシップ教育を行うことは、個々のメンバーに高いパフォーマンスを発揮させ、組織全体のパフォーマンスを高め、変化の時代に求められるリーダーを育成することができる。 そこで、若手看護職(35歳以下)のリーダーシップ教育の開発を行う。

## ●学習と成長の視点

若手看護職のリーダーシップ獲得に必要な行動特性を抽出し、リーダーシップの基礎知識向上のために看護系大学教員や病院の教育担当者、教育委員会教員を対象に研修会を開催する。

現状で行われているリーダーシップに関する研修の実態を把握するため文献を検索し、調査項目を検討する。



#### ●内部プロセス

看護系大学、専門学校の教員、病院の教育担当者、協会関係者で構成するプロジェクトチームを結成する。

リーダーシップ教育に関する現状を把握するために、実態調査を行う。

調査結果や文献をもとに1年目からの段階的なリーダーシッププログラムおよび段階的な評価ツールを作成し、作成したリーダーシッププログラムをプロジェクトチーム内の病院で実施し、その結果から内容を再検討し改善する。

#### ●顧客の視点

自己のリーダーシップ行動の内省から、リーダーシップ行動の理解度で評価する。

# 3-2 ミ特定行為研修修了者の活動の可視化

県内12カ所となった特定行為指定研修機関が、特定行為研修の現状等を話し合う機会を持つことで、特定行為研修修了者の活用や活動を推進する。さらに、本会修了者のフォローアップ研修を行い、実践力の向上を図る。

#### ●学習と成長の視点

特定行為研修の広報活動を行い、研修の理解を深め受講の動機づけを促進するとともに、看護管理者、認定看護師資格を有している者、これから受講を目指すスタッフを対象に研修会を行う。

特定行為研修修了者の活動を可視化するために、実践内容を記録するための活動シートを作成する。

#### ●内部プロセス

特定行為実践内容を記録した活動シートを活用し、集計する。

県内の研修修了者の活動や成果に関する実態調査を昨年度と同様の内容で実施し、分析し、その結果を会員に報告する。

特定行為研修修了者の活動を充実するために、特定行為研修指定研修機関が連携し実務者会を開催し、研修の現状や課題等の意見交換を行う。合わせて指導者講習会を企画し指導者を育成する。

本会および他機関の研修修了1年以上経過した者に対し、フォローアップ研修を実施する。

#### ●顧客の視点

特定行為の実践取り組み数で、特定行為研修修了者の活動の可視化を評価する。

# 4 看護職の働き方改革の推進

# <mark>4-1 {</mark> ヘルシーワークプレイスの推進

昨年度同様「ヘルシーワークプレイスの推進」とし、看護職が健康で働き続けることのできる職場環境を目指す。労働環境改善に向けた取り組みは「自部署の課題を改善しよう」とし、残業や教育・安全などの改善を行う事とし、現状分析、アクションプラン、実施、評価のPDCAサイクルを回す取り組みを行う。対象者は、リーダーを担う看護職から主任とし、次世代育成につなげる。

#### ●学習と成長の視点

看護職が労働環境を改善していくことが何故必要なのか、看護職として安心して働き続けられる環境とは何かを学ぶための研修を開催し、ヘルシーワークプレイスの知識の向上を図る。

現状分析・問題解決手法についての知識の向上のため研修会を開催し、自部署の課題に取り組むための方法を学ぶ。受講対象者は、自部署の課題改善に取り組む施設の担当者、その他施設の看護管理者やリーダーを担う看護職とする。

取り組む施設の担当者および看護管理者を対象に、自部署の課題を明確化するためにクロス分析、課題の絞り込み、アクションプラン作成についての研修を行う。

## ●内部プロセス

自部署の課題改善への取り組み事業について病院看護代表者へ周知し、参加施設を募る。対象は昨年度の取り組み事業に参加していない病院から15病院とし、各病院1部署の参加とする。事業の進め方については本会で運用手順を作成し、研修時に説明を行う。取り組む施設の担当者は研修会の受講を必須とし、受講後、自部署の現状分析、課題の明確化、アクションプランを作成する。取り組み支援としては、オンラインで施設への助言を行うと共に、本会の取り組み事業専用アドレスを活用し、適時相談に対応する。

実践報告は、令和5年2月に報告会を開催し、全取り組み施設が報告を行う。

#### ■顧客の視点

アンケートで取り組み施設の目標の達成率を評価する。

# 4-2ミプラチナナースを対象とした教育体制の整備

昨年度開始したプラチナナース登録システムに55歳以上の看護職が500名以上登録した。この登録した55歳以上の看護職において定年後のセカンドステージの再就職に向けて、リカレント教育の実践的なプログラムを開発する。



#### ●学習と成長の視点

プラチナナース登録制度の周知・拡大をするために、ホームページを活用し定期的に情報を発信する。

生涯学習の必要性を理解するため、昨年度登録者を対象にニーズ調査を行う。調査内容は、セカンドキャリアに関する項目で、自分が活躍できる分野、希望する活躍の仕方、就業したい場所、学習したいこと等。

プラチナナース向けの教育プログラムを作成する。プログラム内容は、セカンドキャリアを考えるもので、人生設計ライフプラン、対人関係スキル、在宅分野における就業場所、再就職に必要な知識等。

施設の看護管理者や事務局長向けには、人生100年時代の看護職のキャリアデザインを考えるをテーマとした企画とし、 プラチナナース雇用のポイント等を伝える。

#### ●内部プロセス

作成した教育プログラムを実施する。受講しやすいように各対象者4回シリーズでオンデマンド配信研修とする。プラチナナース就業者を増やすため、ハローワーク等で説明会を行う。県内を名古屋、三河、知多半島と3つのエリアに分け、年に3回実施する。

## ●顧客の視点

教育プログラムを受講したプラチナナースの受講後アンケートを実施し、満足度 80%以上を目標とする。研修を受講したプラチナナースの再就業率で評価する。



# 4-3 看護師と看護補助者のタスクシフト・タスクシェアの推進

令和4年度は、看護補助者の業務の実態調査を行い、課題を抽出するとともにタスクシフト・タスクシェアを推進するための研修会を開く。さらに看護補助者の研修を実施する。

#### ●学習と成長の視点

看護補助者の役割を理解するために、県内の医療機関321を対象に、実態調査を行う。調査内容は、看護補助者の確保、教育や活用、タスクシフト・タスクシェアに関する項目。また、日本看護協会が2019年に作成した看護チームにおける看護補助者の業務のあり方に関するガイドラインの活用状況も合わせて把握する。

昨年度に引き続き、看護補助者の活用推進のための看護管理者向けの研修会を開催するとともに看護補助者向けの学習会も行う。さらに、日本看護協会が策定し、オンデマンド配信の看護補助者向け標準研修を周知し、活用を促進する。

## ●内部プロセス

研修会「看護補助者との協働〜業務のあり方ガイドラインを活用し、看護補助者へのタスクシフト・タスクシェアを進めよう〜」の開催。対象は病院管理者、看護師長、主任で、病棟管理を行う立場の看護職とする。タスクシフト・タスクシェアを推進している医療機関を公募し、その中から講師を選出し、実践報告を行う。

看護補助者を対象とした研修は、日本看護協会のオンデマンド研修を活用する。標準研修を活用した医療機関数、研修を受講した看護補助者の数を把握する。

#### ●顧客の視点

研修会参加者のアンケートで評価する。タスクシフト実践事例を参考に、ガイドライン活用率と自施設での具体的な取り組みができるかで評価する。



# 5 訪問看護総合支援センターの充実

令和3年7月より訪問看護総合支援センターを開設した。

今年度は「訪問看護総合支援センターの充実」を目標とし、支援センターが中心となりナースセンター、教育センターで行っている訪問看護師教育および訪問看護管理者教育など訪問看護に関わる教育・研修を組織化し、教育の充実を図る。

訪問看護サービスは外部評価などの第三者評価は義務付けられておらず、自主的に事業所の自己評価を行っているため、訪問看護に関する機能評価体制を構築し、機能評価について説明・周知をするとともに複数の事業所に実施する。

# ●学習と成長の視点

訪問看護ステーションの機能評価については、有識者や訪問看護認定看護師等を構成員とした委員会を設置し、機能評価マニュアルおよび手順書について、現行の訪問看護ステーション自己評価を基に検討し作成する。

訪問看護ステーションの看護管理者、看護職、その他職員を対象とし、機能評価についての学習会を開催し、知識の向上を図るとともに、機能評価受審の公募を行う。

## ●内部プロセス

相談業務はホームページに相談窓口を設置することにより、訪問看護ステーションおよび県民からの相談対応を充実させていく。 訪問看護総合支援センター連携会議(仮称)を開催し、ナースセンターおよび教育センターそれぞれで担っている訪問看護教育を組織化するとともに、各センターの役割を明確化する。両センターと連携の上、令和5年度の訪問看護に関する教育プログラムを策定する。

訪問看護ステーションの機能評価の実施に向けサーベイヤーの選定および育成を行う。公募した施設の3か所へ機能評価を 実施し、事業所へフィードバックを行う。C評価以下の項目は再審査を行い訪問看護ステーションの質の充実を目指す。

#### ●顧客の視点

機能評価を受審した事業所の評価達成度を評価する。

# 6 看護経営における情報管理システムの構築

県内の病院に呼びかけ、その病院のデータベースを入力し、データをグラフ化、さらに施設の希望に応じ分析を行う。分析は、労働管理、医療安全などの項目をカスタマイズしたものの中から行う。タイムリーに各病院にデータ分析結果を届け、人材管理・業務の効率化、そして経営へと貢献する。

## ●学習と成長の視点

看護経営に必要と考えられるデータ項目を決定する。看護経営情報システムに参加する施設を募集する。データ入力のための入力フォーム、グラフ化できる仕組み、データ管理の手順書を作成する。

#### ●内部プロセス

参加する施設は、手順書に従いフォーマットにデータを入力する。基本的なデータをグラフ化し、各施設へ配信する。労働管理、安全管理については、パッケージにしてデータをグラフ化し活用できるものにする。データ集積結果の平均値を出し、病床ごとにまとめ参加施設へ発信する。

#### ●顧客の視点

目標は看護経営の向上とし、業績指標はデータの活用率とする。

令和4年度 公益社団法人

# 愛知県 看護協会 通常総会

のお知らせ

# ●日時

# 令和4年6月22日(水)

13:15~16:30 (12:30 開場)

# ●場所

# 名古屋市公会堂大ホール

# ●プログラム

13:15

13:45 議決事項

\*\*\*/**・\*\*\*/・\*\*\*\*/・\*\*\*** 第1号議案 推薦委員の選出 (投票)

第2号議案 令和5年度 日本看護協会通常総会代議員

開会式 愛知県看護協会長表彰、感謝状の贈呈、来賓祝辞

及び予備代議員の選出 (投票)

第3号議案 名誉会員の承認

第4号議案 定款の改正

第5号議案 愛知県看護協会役員の選任

第6号議案 令和3年度 決算書類の承認及び監査報告 第7号議案 愛知県看護協会新会館建設基本計画と資金

計画

# 報告事項

報告事項1 令和3年度事業報告

報告事項2 令和4年度 重点事業及び事業計画

報告事項3 令和4年度 収支予算

## 選挙結果発表

**愛知県看護協会** 退任役員紹介、あいさつ

新任役員紹介、あいさつ

16:30 閉会

新型コロナウイルスによる感染拡大の状況を鑑み、出席者数を制限して開催します。施設の会員数に応じて出席者数を割り当てさせていただきました。会員の皆様のご意見は、メールにて受付けております。 (aikan@aioros.ocn.ne.jp)なお、欠席の方は委任状の提出をお願いします。

# No.2 新会館建設シリーズ

# 基本設計ができました!! \|\

- ・ 看護の心を発信する包容力のある外観
- ・出会いや感動を分かち合える一体感のある空間
- 様々な利用に対応できる柔軟性のある空間

# 1. 新会館の青写真

# 建物のコンセプト \\\

- 情報発信と地域との繋がりの空間
  - ▶1階には広いホールとホワイエ
  - 壁面に大プロジェクターを設置
  - ▶地域に向けての情報発信の場です
- ・ 屋外テラスで憩いの空間
  - ▶建物、敷地内の緑化
  - ▶快適な学びの場とこころ癒す場です

- コミュニケーションの空間
  - ▶緩やかな階段
  - ▶各階にコミュニケーションスペースを設置
  - ▶看護職の交流の場です
- ・ 自然エネルギーで快適な室内空間
  - ▶自然採光と自然換気
  - ▶環境に優しい場です



- 情報発信…地域との繋がりの空間
- 2 コミュニケーションの空間…緩やかな階段と明るく開放的な吹抜け
- 3 屋外テラス…南向きの良好な植栽環境
- 4 自然エネルギー…快適な室内空間



# 2. 新会館建設に対してのご意見 ありがとうございました!!

令和4年2月に看護協会ホームページ上でご意見を募集したところ、250件程のご意見をいただきました。 会館設計や運営に取り入れていきます。

# <sup>令和4年度 公益社団法人</sup> 役員·委員候補者紹介 <del>◆和4年 6月22日 通常総会選挙</del>

選挙管理委員会 令和4年度役員・委員候補者について定款施行細則第18条(公示)に基づきお知らせします。

令机4年度役員・委員候補者について定款施行細則第18条(公示)に基づきお知らせします。 選挙管理委員会							
<b>。</b>	定数	役 職	候補者名	所 属	就   任   期	協 会 活 動 に 対 す る 抱 負	摘 要
	1	理事 (会長)	三浦 昌子	愛知県看護協会	2期	今般のコロナ禍で、看護職は社会のニーズに応えつつ、新たな体制や再構築に取り組みました。2040年に向けて生涯学習の充実と就業継続が可能な看護職の働き方を会員の皆様とともに邁進していきます。	推薦委員会推薦
補 者	2	理事	亀島 加代	公立陶生病院	新	看護の役割拡大と多様化するニーズに応えるべく、人材育成、チーム医療の推進、地域連携の強化、タイムリーな情報発信に取り組み、医療現場をサポートします。	推薦委員会 推薦
		(副会長)	篠崎 惠美子	有成プログ	新	ダイナミックかつしなやかに看護を捉えなおし、看護の専門性を発揮できる資質を備えた人材育成のため、基礎教育と実践現場が協働して育成・活用できる新たなシステム構築を目指します。	推薦委員会 推薦
	1	理事 (専務)	幾田 純代	元愛知県保健医療局 医務課こころの健康 推進室	新	コロナ禍において、看護職への社会的期待は今まで以上に増大しています。今後、看護職が地域社会のさまざまな分野で一層活躍できるよう、協会活動に尽力してまいります。	推薦委員会推薦
5			森田恵美子	愛知県立大学 看護学部	新	さまざまな場において働く看護職に求められる役割期待は益々高まります。そのような中、看護職が専門性を 発揮して活き活きと働き続けられるよう、協会活動に尽力いたします。	推薦委員会推薦
	3	理事 (常務)	結城 房子	元刈谷豊田 総合病院	新	「いのち・くらし・尊厳をまもり支える看護」看護の将来ビジョンです。コロナ禍の今だからこそ、看護職・地域の方々の声を聴き、ビジョンの実現に向けて尽力したいと思います。	推薦委員会 推薦
			坂之上 ひとる	元名古屋第一 赤十字病院	新	このコロナ禍で看護職に求められる役割が改めて顕在化したと感じています。看護職が社会に貢献し、看護職 一人ひとりが生き生きと働くことを目指して、協会の活動に尽力いたします。	推薦委員会推薦
	1	職能理事 (保)	佐藤 かおり	名古屋市総務局 職員部安全衛生課	新	感染症等による大きな社会の変化の中においても、保健師のコアを大切にしながら、しなやかに対応できるよう、職能間の連携や教育活動に力を注ぎたいと考えております。	推薦委員会推薦
	1	職能理事(助)	根岸 かほり	春日井市民病院	新	母子を取り巻く社会の状況は今後も変化を遂げていきます。多様なニーズに対応できるよう、引き続き助産師 の実践能力強化と助産師活用の基盤整備に努めていきたいと思います。	推薦委員会 推薦
	1	職能理事 (看 I)	井上 里恵	愛知医科大学病院	2期	地域包括ケアシステム、医師の働き方改革、外来機能の明確化など医療環境はさらに変化します。病院看護師の働く環境を充実し、専門性が発揮できるよう、協会活動に努めさせていただきます。	推薦委員会推薦
	1	職能理事 (看Ⅱ)	安藤 聡	キョーワ訪問看護 リハビリステーション 寄り添い屋	新	地域包括ケアシステム構築のため、多職種・多機関と協同して取り組めるような活動を目指します。よりよい 地域にするために看護職に何ができるかを考えて取り組んでいきたいと思います。	推薦委員会 推薦
4 12	1	理事 (准)	堀尾 香澄	江南厚生病院	新	会員みんなの声を伝え、働きやすい職場作りを行っていきます。また、職務を遂行し地区の発展に取り組んで いきます。	推薦委員会 推薦
	1	地区理事 (名古屋東)	岡朋子	東海病院	新	名古屋東地区に従事する看護職、多職種とのスムーズな連携を行えることを目指し、地域に密着した活動に取り組めるよう努めます。	推薦委員会 推薦
K	1	地区理事 (名古屋西)	山口 弘子	名古屋掖済会病院	新	地域の期待に応えられるよう地域に密着した看看連携・多職種連携による活動を推進していきます。地域の 方々の思いをつなぐ医療・看護の提供に貢献できるよう努めてまいります。	推薦委員会 推薦
	1	地区理事 (名古屋南)	都築 智美	大同病院	新	地域包括ケアシステムを推進するために、看看連携、多職種連携の強化をはかります。地域のニーズを反映した活動に取り組み、地区支部の役割を果たせるよう努めてまいります。	推薦委員会 推薦
	1	地区理事 (名古屋北)	山本 あゆみ	名古屋市立大学 医学部附属 西部医療センター	2期	コロナ禍で新たに見えてきた地域医療連携の必要性や課題、地区支部内での施設間連携強化に努め、「ACP推進」「災害支援活動の強化」等の事業推進に尽力してまいります。	推薦委員会推薦
	1	地区理事 (海部)	大鐘 美幸	津島市民病院	2期	海部医療圏の特性を生かした、医療や看護・介護、福祉の連携強化を行い、看護協会の活動を広めていきたいと 思います。	推薦委員会 推薦
	1	地区理事 (尾張西部)	住田 千鶴子	稲沢市民病院	新	尾張西部医療圏における地域包括ケアと災害発生時の対応の充実を目指し、医療や介護、行政の連携を深めた 活動に努めます。	推薦委員会 推薦
$\sqrt{}$	1	地区理事 (尾張北部)	瀬古 鈴子	さくら総合病院	新	愛知県看護協会と共に尾張北地区内でのACPや地域災害応援ナース等の普及活動を推進し、人々の健康を支える活動集団の地区支部理事として尽力してまいります。	推薦委員会推薦
K	1	地区理事 (尾張東部)	中津川美位	旭労災病院	2期	地区支部の活動を通して地域の医療機関や行政の連携を深め、それぞれの機能を活かしながら地域全体での 医療・看護の質を高められるよう取り組んでまいります。	推薦委員会 推薦
Ą	1	地区理事 (知多半島)	西嶋 志津江	<ul><li>あいち小児保健</li><li>医療総合センター</li></ul>	新	地域における全世代の健康ニーズを捉え、保健・医療・福祉・教育など多職種が連携し住み慣れた地域で安心して過ごせるよう尽力します。	推薦委員会 推薦
	1	地区理事 (西三河北部)	小川 津代日	豊田地域医療センター	新	地区の行政や医療施設間の連携を深め、地域包括システムの推進を図り、医療・介護・福祉・在宅医療等で活躍する看護職を支援し地域活性に努力してまいります。	推薦委員会 推薦
	1	地区理事(西三河南部西)	石川 眞理子	刈谷豊田総合病院	新	いつでも相談できる顔の見える関係性を礎に、看看連携をより強化していきます。看護協会の活動に積極的に取り組み、これまでの地区支部の活動を引き継いで地域に貢献していきます。	推薦委員会 推薦
	1	地区理事(西三河南部東)	小島 菜保子	藤田医科大学 岡崎医療センター	新	地域の看護職、医師会、介護職との連携をさらに強化し、地区の特性や要望に沿った地域社会を支援する体制づくりと、ACPをより推進させるための取り組みに積極的に関わっていきたいと思います。	推薦委員会 推薦
	1	地区理事 (東三河)	鈴木 厚子	渥美病院	新	東三河地区の地域性を活かし医療、介護、福祉に関わる看護師同士の連携を図り、「地域の人たちが安心して暮らせる」看護体制が構築できるよう努めてまいります。	推薦委員会 推薦
			鈴木 正子	人間環境大学 看護学部	新	愛知県看護協会は、会員のための組織であることを第一に考え、重点事業を中心に業務執行状況が無駄なく無理なく的確に行われるように、監事の役割を果たしていきたいと考えています。	推薦委員会 推薦
	3	監事	鈴木 真司	鈴木真司 法律事務所	3期	人口の高齢化やパンデミック等により看護職へのニーズも拡大かつ多様化する中、当協会が円滑、適正に対応 できるよう、弁護士の立場からのチェックやサポートなど、尽力してまいります。	推薦委員会 推薦
			梅田 隆規	元愛知県看護協会 事務局長	新	看護の力で健康な社会を実現するために、愛知県看護協会が公益法人として適正な運営を行いつつ社会貢献ができるよう、これまでの経験を活かして尽力してまいります。	推薦委員会推薦

+#	定数	役職	候 褚	者名	所	属	就任期	摘要
<b>堆薦</b> 委		推薦	藤原	啓子	名古屋市健福祉セ		2期	推
廌委員候補	9	推薦委員(	出口	さとみ	愛知県保健康医務 医療計画	部	新	推薦委員会推薦
補者		保	青山	政美	岡崎市保 健康増進		新	薦

役職	候補者名	所属	就任期	摘要
推薦	小笠原 順美	西尾市立 看護専門学校	2期	推
推薦委員(助)	熊谷 千景	名古屋市立大学 医学部附属西部 医療センター	新	推薦委員会推薦
助	三谷 敏江	小牧市民病院	新	薦

役職	候補者名	所属	就任期	摘要
推	西元 千代	名古屋記念病院	3期	推
推薦委員(看)	鈴木 美紀	蒲郡市民病院	新	推薦委員会推薦
看	伊藤 恵美	海南病院	新	薦

# <sup>令和5年度 日本看護協会通常総会</sup> 代議員·予備代議員候補者名簿

令和4年度公益社団法人 愛知県看護協会通常総会 (令和4年6月22日) において、令和5年度公益社団法人日本看護協会通常総会代議員・予備代議員の選挙を行います。

愛知県看護協会定款施行細則第18条(被推薦者及び立候補者の公示)に基づき、お知らせします。

選挙管理委員会

	令和5	年度 日本	看護	協会 代議員候補者			
〈推	〈推薦による候補者〉 (代議員定数39名)						
1	井上	里恵	役	愛知医科大学病院			
2	山本	あゆみ	役	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター			
3	大鐘	美幸	役	津島市民病院			
4	佐藤	かおり	保	名古屋市総務局職員部安全衛生課			
5	大谷	あい子	保	愛知県保健医療局健康医務部健康対策課			
6	木全	美智代	助	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院			
7	永田	佳子	助	豊橋市民病院			
8	藤田	美津子	看	東海病院			
9	西分	恵美子	看	聖霊病院			
10	森田	麗	看	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター			
11	林田	由子	看	名古屋セントラル病院			
12	津留	美貴	看	名古屋共立病院			
13	小林	朋美	看	偕行会城西病院			
14	牧野	真美	看	中京病院			
15	伊藤	加代子	看	名古屋市立大学病院			
16	関川	美知	看	鳴海クリニック			
17	松本	和美	看	中日病院			
18	濱田	秀美	看	AOI 名古屋病院			
19	石川	由美	看	尾張温泉かにえ病院			
20	稲田	千穂	看	山下病院			
21	田中	奈美	看	千秋病院			
22	船渡	祥子	看	一宮西病院			
23	鈴木	かよ子	看	総合犬山中央病院			
24	板倉	喜子	看	白山リハビリテーション病院			
25	平田	貴信	看	さとう病院			
26	竹山	朋子	看	藤田医科大学病院			
27	村松	有紀	看	愛知医科大学病院			
28	伊部	玲子	看	公立陶生病院			
29	伊藤	史朗	看	国立長寿医療研究センター			
30	鰐部	貴久美	看	公立西知多看護専門学校			
31	福田	郁栄	看	豊田厚生病院			
32	高橋	恭子	看	中野胃腸病院			
33	石川	由香	看	西尾市民病院			
34	野村	由美子	看	碧南市民病院			
35	小林	静香	看	小林記念病院			
36	岩元	里江	看	岡崎市民病院			
37	柴崎	真由美	看	成田記念病院			
38	河合	真弓	看	渥美病院			
39	佐藤	朋枝	准	総合青山病院			

令	和5年度	日本看護	協会	予備代議員候補者
〈拍	薦による	る候補者〉		(予備代議員定数39名)
1	山口	弘子	役	名古屋掖済会病院
2	瀬古	鈴子	役	さくら総合病院
3	小島	菜保子	役	藤田医科大学岡崎医療センター
4	伊藤	博美	保	愛知県清須保健所
5	桑原	三佳	保	名古屋市健康福祉局生活福祉部保険年金課
6	半田	裕子	保	東海市市民福祉部社会福祉課
7	早川	明子	保	愛知産業保健総合支援センター
8	近藤	吾子	助	トヨタ記念病院
9	金子	恵美子	助	安城更生病院
10	西澤	雪江	助	春日井市民病院
11	鈴木	久美子	助	岡村産科婦人科
12	吉田	春美	看	名古屋大学医学部附属病院
13	則竹	真生子	看	愛知県精神医療センター
14	向井	未年子	看	愛知県がんセンター
15	大場	麻里	看	名古屋掖済会病院
16	柴田	愛	看	協立総合病院
17	高比良	! 梓	看	鵜飼リハビリテーション病院
18	澤村	美海	看	新生会第一病院
19	上田	かおり	看	並木病院
20	福島	みさ代	看	南生協病院
21	畔柳	美佳	看	名城病院
22	小林	瑞穂	看	名古屋ハートセンター
23	澤田	真紀	看	偕行会リハビリテーション病院
24	大西	美樹	看	泰玄会病院
25	丹羽	郁子	看	総合大雄会病院
26	谷由	紀衣	看	春日井リハビリテーション病院
27	野田	みつ子	看	小牧第一病院
28	仮屋	美智子	看	青山病院
29	金子	克子	看	日進おりど病院
30	山本	愛子	看	旭労災病院
31	志村	綾子	看	半田市立半田病院
32	藤原	恵子	看	家田病院
33	内藤	いづみ	看	安城更生病院
34	稲垣	美穂	看	刈谷豊田総合病院
35	青山	めぐみ	看	愛知医科大学メディカルセンター
36	大日方	<b>美和</b>	看	蒲郡市民病院
37	清田	綾子	看	豊橋市民病院
38	永江	大	准	さくら総合病院
39	久保川	陽子	准	豊田地域医療センター

役:役員、保:保健師、助:助産師、看:看護師、准:准看護師

# 三職省は集会の報告

2月16日砂

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため オンラインにて開催

# いのち・尊厳をまもる 看護の力

●第 I 部 (午前の部)

合同集会 —

239名

●第Ⅱ部(午後の部)

保健師職能集会 23名 30名 助産師職能集会

看護師職能 I 集会 113名

看護師職能Ⅱ集会 43名

209名

☞ 第【部(午前の部)



# ACP実践報告

全地区支部において病院と訪問看護ステーションが連携し、患者へのACP支援を行った結果が報告されまし た。13の事例の主な疾患は、がん、循環器疾患、神経難病などで、患者の背景は40歳代で思春期の子どもをも つ母親、50歳代の働き盛りの男性、80歳代の高齢者世帯など様々でした。患者は一旦決めたことについて病状 や体調の変化、周囲の意見によって気持ちが揺れ動きます。支援者としてこの変化を汲み取り、病院の看護師や ケースワーカー、訪問看護師やかかりつけ医、ケアマネージャーなどの関係者間で連携を取りながら、患者の想 いに添った丁寧な支援の実際を学ぶ機会となりました。

今回の取り組みから、患者の想いを確実に繋ぐためのツールづくりが必要であること、施設や職種間でACP の捉え方に温度差があること、県民へのACP知識の普及・啓発が充分とは言えないことなどが課題として明示 されました。

常務理事 和久田 月子



🎝 第Ⅱ部(午後の部)

保健師職能集会

# 地域の産業の担い手を支える看護の力 ~産業保健と連携するとは~

講演

「地域と連携する産業保健|

日本福祉大学看護学部看護学科 教授 水谷 聖子

講演

「産業保健の実践報告|

塚田産業保健師事務所 代表 塚田 月美



水谷氏は、社会や経済の動向と共にメンタルヘルス不調の増加や、がん・脳卒中など疾病を抱える労働者に 対応するため、メンタルヘルス対策や治療と仕事の両立支援、高年齢労働者の安全と健康確保など取り組む課 題をわかりやすく説明され、地域・職域等が連携した『地域共生社会』における保健師の役割を改めて認識でき ました。

塚田氏は、産業保健師活動の実践事例として「50人未満の事業場への展開」を中心に報告され、労働者の健 康管理の実態やその支援、正規雇用労働者と非正規雇用労働者の現状、職場の健康・安全の捉え方など、一筋 縄では解決・対応できない問題が多く厳しい現状が理解できました。このような「VUCAの時代」を知ることがで き、産業保健師の視点に基づいた「健(康)幸(せ)を追求する専門職|である保健師活動を続けるという言葉が印 象的でした。

保健師職能委員 佐藤 かおり



# 妊産婦に生じる 心の変化を理解し支えるために、 今私達助産師にできること

講演

# 「妊産褥婦に生じる心の変化を 理解し支えるために知っておくこと」

名古屋大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター生殖周産期部門 准教授 小谷 友美

小谷氏は、妊産褥婦に生じる心の変化に対して具体的な対応方法や、妊産褥婦を取り巻く専門職がチームとして関わる大切さをお話しになりました。また、専門的な視点からのアドバイスを聞くことができ、目の前の霧が晴れたような気持ちになりました。

助産師職能の活動報告では、各施設からの情報をもとに作成した妊娠期から育児期にわたる「地域と施設の連携フロー(案)」の紹介があり、妊産褥婦により良いケアを届けるために各々の環境でアレンジして活用してほしいとの説明がありました。

助産師職能委員 近藤 吾子

看護師職能 [集会

# 力強くたおやかに輝く看護師たちへ ~ケアの担い手である私たちが健康であること~

讃 演

「コロナ禍で体験した倫理な悩みと共感疲労に対処する看護師のセルフケア」

ファミリー・ホスピス株式会社 (東海) 事業統括室 教育・研修グループマネジャー 酒井 幸子(がん看護専門看護師 / 緩和ケア認定看護師)

「COVID-19禍において医療従事者のこころを守るこころのABC活動」

早稲田大学人間科学学術院 教授 竹中 晃二

新型コロナウイルス感染症と向き合い3年目になり、この間、医療提供体制の変化に対応し、様々な倫理的ジレンマと対峙してきました。しかし、精神的にも身体的にも疲労が蓄積し、「どれだけ頑張ればいいのか」という気持ちにさえなっていたのではないかと思います。

酒井氏は、看護師の職業特性からストレスに陥りやすく日常的に積極的なストレス対処が必要なこと、看護ケアを認めること、意図的に行動を起こし、ストレス対処を行うヒントを話されました。

竹中氏は、心も身体も元気になるHow toを紹介されました。【ストップ・リラックス・スィンク】、【イフ・ゼン・プラン】など、楽しく意識を持ち行動できるメッセージがありました。

私たち医療従事者は予防を意識しなければならず、日常からセルフケア活動の習慣化を促す必要があります。「だいじょうぶDJB」、自分や他者をいたわる気持ちを忘れずに互いにねぎらいましょう。明日からきっと前に踏み出せます!というメッセージを話されました。

参考:早稲田大学大学院人間科学研究科竹中晃二特設サイト http://takenaka-waseda.jp/

看護師職能 [委員長 井上 里恵

看護師職能Ⅱ集会

# PDCAサイクルが科学的に評価される今、看護職は何を行うべきか ~介護報酬改定、科学的介護情報システムLIFEの導入が意味する事~

講演

「科学的介護情報システムLIFEとは~在宅領域の看護職へ期待すること~」 厚生労働省老健局老人保健課介護予防対策専門官(併:看護専門官) 初村 恵

「科学的介護情報システムLIFEの活用でPDCAサイクルを回す」

介護老人保健施設タキガワアリア 護科長 三宅 裕子



初村氏は、科学的介護情報システムが導入された背景やどのような効果が期待できるのか、我々看護職が何を期待されているのかなどのお話がありました。看護職は看護過程においてアセスメントや計画の評価修正という PDCAサイクルを実践しており、PDCAサイクルには馴染み深いことであると気づかされました。介護の現場でもビッグデータを収集し活用することで質向上の取り組みが可能になるとのことでした。

三宅氏からは、実際にLIFEを利用した取り組みについて事例を交えて紹介いただき、利用者の自立支援と尊厳を保持した上での安全で安楽な生活につながることを学ぶことができました。我々の実践が診療・介護報酬につながることや現場でのコミュニケーションを促進させ、結果として利用者へ良いケアを届ける一助となることが理解できました。

看護師職能Ⅱ委員 吉村 元輝



# 新型コロナサイルス感染症



# 《《 救急外来からのメッセージ 》》

# 一3次救急医療機関から一

2022年1月上旬に第6波が救急外来にも押し寄せ、第2種感染症指定医療機関としての役割と3次救急医療機関としての役割を果たすべく奮闘しました。受け入れ開始から2年が経過し、陽性患者や発熱患者には、飛沫・接触感染対策として専用マスク・ゴーグル・ガウン・キャップ・手袋の装着を徹底し、スタッフもスムーズに対応できるようになりました。

しかし、第6波は、重症リスクは低いが非常に強い感染力のオミクロン株が猛威を振るい、急激に受診者数が増加しました。救急隊より発熱や陽性患者の搬送連絡が入ると、現場に一瞬緊張が走り、個室での受け入れ態勢を整えます。ピーク時には、昼夜問わず、救急隊や保健所より、発熱患者・陽性患者の受け入れ要請があり、救急車で1時間以上かかる病院からの転院搬送も受け入れました。無症状も多く、入院前スクリーニング検査や交通事故で搬送されて検査で陽性が判明するケースもありました。入院ベッドの確保ができず、やむを得ず発熱患者の受け入れ規制や重症患者の救急搬送をお断りしました。断ることで患者の病状が悪化しないか不安になる、電話口で罵倒される、受診できないかと懇願されるなどで対応する職員も心を痛めています。職員の家族が陽性、保育園が休園など勤務者の確保も難しく、応援体制で毎日の人員を確保し、出勤前に陰性確認するなど平常時とは異なる対応も行っています。

そんな中でも救命救急センターのモットーである「断らない救急」を目指して、医師や多職種と協働し、重症患者、発熱・ 新型コロナウイルス感染症患者を受け入れ、救急医療に力を注いでいます。

(刈谷豊田総合病院 救急外来師長 石川優子)

# 一2次救急医療機関の立場から一

第6波は、オミクロン株が猛威を振るい、若年層を起点とする家族内感染や、高齢者の多い療養施設内での感染拡大、合併症を伴う方の症状が重症化する傾向が顕著でした。

陽性者数は過去の波に比べ格段に多く、現場においては昼夜問わず濃厚接触者、かかりつけ医を持たない有症状者等からの相談の電話が鳴りやまず、加えて呼吸器症状や有熱者の救急搬送対応に奔走することとなり、オミクロン株の感染力の高さを実感するとともに、その他の病気の患者さんの救急医療対応も困難な現状となりつつあり、医師、看護師ともに強いジレンマを感じていました。また、屋外施設でのウォークイン患者対応は時期的には最も寒い時期と重なってしまったため、換気の必要性と患者さん、スタッフの防寒対策の両立にも大変苦労しました。

このような対応輻輳、状況混乱、緊急多数による時間の切迫とジレンマに苛まれ、スタッフは疲労困憊の様相となりつつありましたが「我々は人と戦っているのではなく、ウイルスと戦っている。チーム一丸でやりぬこう!」とお互いを励まし、リスペクトして乗り越えてきました。

これまでに得てきた経験を糧にして、今後も2次救急医療機関として地域住民の皆様の日常、社会活動を支えていきたいと思います。

(津島市民病院 外来看護師長 大橋希代美)

# 《《自宅療養者への訪問看護からのメッセージ》》》

コロナ陽性者の初めての訪問は、5月末に保健センターからの依頼でした。認知症で、脱水などの危険があり、主治医の指示にて点滴を行うために訪問しました。家族の介護力があり、契約説明などもしっかりとできて、30分ほどの訪問で対応ができました。

第5波に入ってからは点滴や在宅酸素療法など医療処置が必要なケースを訪問しました。毎日の通常訪問に加えてのコロナ陽性者の対応となり、訪問調整を日々行いながら、スタッフも感染への不安を抱えながら対応しました。

困った事は、感染防護服を着て入る事に近所の目があるからと言われ、なるべく見えない玄関先の場所を探すことや玄関の狭い空間での感染防護具の着脱がありました。また、外国籍の方には日本語がうまく通じず、訪問時間がかかった事などありました。コロナ陽性者の訪問時間は、できるだけ短時間(15分以内)が推奨されていますが、処置や療養指導に時間がかかり30分以上かかったケースもありました。訪問終了後は関係機関との連絡や記録などスタッフへの身体的、精神的な不安や負担もありました。ステーションとして、スタッフはもちろん家族にも感染させないため、感染防護服や消毒液などを整備して、すぐに帰ってシャワー浴ができるように勤務も配慮して調整を行いました。

利用者の中には、まん延防止等重点措置が出ている間の訪問はお休みにして欲しいと要望があり、2か月以上訪問しないケースもありました。利用者がコロナ陽性になり、ヘルパーなどの支援を受けることができなくなり日常生活に支障が出たケースがありました。コロナ陽性者の中には、新型コロナウィルスによる呼吸器症状ではなく、脱水などの基礎疾患の悪化で緊急入院になる方もいました。

今後は治療の状況の変化に合わせて陽性者へ対応できる訪問看護ステーションが増えていくことを希望しています。 (名古屋市療養サービス事業団 名古屋市天白区訪問看護ステーション 管理者 川本寿恵)





# /// 沖縄県新型コロナウイルス感染症軽症者 \\\\\ 宿泊施設への看護師応援派遣活動に参加して///

第6波の初期、日本看護協会を通して沖縄県看護協会からの要請を受け、軽症者宿泊施設の看護職員の応援派遣活動に参加しました。派遣期間は、1月30日から2月12日までの2週間、チームは全国の看護協会からの看護職13名で編成されました。

最初の2日間は、ホテルを軽症者施設として使用するため、受け入れ態勢の整備にあたりました。医療器材の点検、衛生材料や事務用品の準備、保健所との連絡体制の確認、PPE着脱方法とゾーニングの設定等を現地の関係者と協力し合いながら行いました。ホテルの構造上、ゾーニングには苦慮し、PPEの着脱手順と看護職の動線の確認を繰り返しシミュレーションし、交差することなく行えるようにしました。

3日目より、1日に2~11名の療養者の受け入れを開始しました。安心して療養できるように健康観察はもとより、療養者の希望にも可能な限り柔軟に対応し療養環境を整えていきました。療養者には基礎疾患のある者や高齢者が多く、宿泊施設から病院受診や入院の手配、また、退院後の療養者の受け入れなど多様な対応がありました。若年層は症状が軽い反面、療養期間中ストレスが強く途中退所を申し出る者もあり、精神的サポートも大切でした。

活動に参加し、事業に携わるすべての職員との連携体制や業務分担の徹底で円滑な協働作業ができ、貴重な経験となりました。

(愛知県看護協会 日置みさき)



看護師間でのカンファレンス



# Aichi Nursing Association

# MONTHLY NEWS!

**手雑セクフンフリーニューフ** 

-			
	1月	5日(水) 13日(木) 16日(日) 24日(月)	認定看護管理者教育課程ファーストレベル 開講式 第6回常務理事会※ 会員施設代表者会議※ 第6回理事会、第2回新会館建設会議※
	2月	10日(木) 16日(水) 18日(金) 19日(土) 24日(木)~25日(金)	愛知県看護連盟との合同会議※ 三職能集会※ 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 閉講式※ 愛知県看護連盟との合同研修会 ハイブリッド 日本看護協会理事会・法人会員会※
	3月	7日(月) 14日(月) 18日(金) 同上	第7回常務理事会※ 第7回理事会、第3回新会館建設会議※ 摂食嚥下障害認定看護師、訪問看護認定看護師教育課程 修了式※ 助産師出向支援事業協議会
	4月	7日(木) 18日(月) 21日(木)	第1回常務理事会※ 第1回理事会、第4回新会館建設会議 委員長・地区支部長説明会

# ナースセンター : (\*\*)

愛知県ナースセンターは厚生労働大臣許可の

無料職業紹介所です。

看護職の方の就職活動を サポートします!!

# 求人・求職の登録はこちらから

都道府県看護協会による無料職業紹介事業

②ナースセンター

https://www.nurse-center.net/nccs/



## 離職届けはお済みですか?

看護師等の届出サイト

とどはるん

https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/



# 所長あいさつ

日ごろは愛知県ナースセンター事業にご支援ご協力いただきありがとうございます。4月にナースセンター所長に就任いたしました姫野美都枝です。

昨年度は就労促進課長としてナースセンターで活動させていただきました。コロナ禍の中、多くの潜在看護師の方々から、今こそ社会のためにライセンスを活かしたいという声をたくさんいただきました。

私たちナースセンターでは、今後も看護師の皆さまお一人お一人が生涯現役で活躍いただけますようにご支援させていただきたいと思います。これからもぜひナースセンターをご活用ください。



# 相談窓口のご案内

新型コロナ感染症に関する看護職を対象とした悩み相談

# 「離職防止相談窓口」を開設しました

新型コロナ感染症に対応される看護職を対象とした、離職防止を目的とした専用ダイヤル電話相談窓口です。

新型コロナ感染症の対応で仕事の悩み・退職を考えている方、風評被害や偏見で仕事を辞めたい、仕事を続けられるか心配、誰かに話を聞いてもらいたいなど…。まずは、話してみませんか?お気軽にお電話ください。

専用ダイヤル

080-7192-0432

月曜日~金曜日/10時~16時 (祝祭日及び年末年始は除く)

# スキルアップ研修のご案内

新型コロナ関連施設へ就業する看護職のために

新型コロナ感染症の業務に就業した潜在看護師(または就業を希望する)が対象です。オンデマンド研修と集合研修(週2回12:00~15:45 申込フォームより送信)を行います。

- ①感染管理 ②医療安全
- ③軽症者施設のオリエンテーション
- ④看護技術(実技) ガウンテクニック、採血、点滴、酸素吸入、吸引

詳細は、ホームページをご覧ください。

https://www.aichi-nurse.com/pages/165/



# ハローワーク巡回相談のお知らせ

求人求職・転職・看護系学校への進学の相談

お近くのハローワークで開催しています。 令和4年上半期の予定はこちら https://www.aichi-nurse.com/pages/34/





# ▶愛知県ナースセンター

〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26番15号 愛知県高辻センター1階 **TEL.052-871-0600**/FAX.052-883-3686 メール: aichi@nurse-center.net

# ▶豊橋支所 7月に移転しました

〒440-0888 豊橋市駅前大通2丁目81番地 emCAMPUS EAST4降 **TEL.0532-52-1173**/FAX.0532-52-1166 メール: toyonashi@nurse-center.net \*TEL/FAX/メールは変更ありません。 愛知県ナースセンター

▶ 名駅支所

検索

https://www.aichi-nurse.com/

**TEL.052-433-1173**/FAX.052-433-1175 メール:meieki@nurse-center.net



# 読者プレゼント企画



クイズに答えると抽選で UOカード1,000円分が 10名様に当たる!

スマートフォンやパソコンを使って、下記クイズについて、ご回答ください。ご応募いただい た方の中から抽選で10名様に、「QUOカード1,000円分」を進呈します。





令和4年度愛知県看護協会重点事業は、何項目ですか。



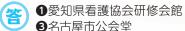
●6項目

28項目

**3**15項目



令和4年度愛知県看護協会通常総会の開催場所は、どこですか。







愛知県看護協会の新会館の建物コンセプトは、どれですか。

●自然エネルギーで快適な室内空間 2化学エネルギーで快適な室内空間

❸火力エネルギーで快適な室内空間

# 応募方法

スマートフォン・パソコンにて





○ 愛知県看護協会

以下のURL又はQRコードから回答してください。 https://www.aichi-kangokyokai.or.jp/publics/index/534/

※回答期限は、2022年6月20日(必着)です。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

# 看護技術のオンライン教育・研修に、すぐに導入できる!

# O Nurse Trainer

**ピナース**トレーナー

- ●日本看護学校協議会編集の指導案や模擬カルテで、 学生の実習をサポート! (教育機関専用コンテンツ)
- ●厚労省ガイドラインに沿った技術項目リストを収載!
- ●施設オリジナルの研修内容も設定可能です!

# ライアル受付











〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] https://www.igaku-shoin.co.jp [販売·PR部]TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp



# /理/事/会/報/告/

◆令和3年度 第6回 理事会 令和4年1月24日(月)

# 協議事項

- 令和4年度事業計画(原案)について
- ② 新会館建設資金計画について

協議事項1・2は、承認された。

# 報告事項

- 令和3年度愛知県看護協会事業報告(10月~12月)
- ② 令和5年度日本看護協会通常総会代議員・ 予備代議員の推薦について

# ●令和3年度 第7回 理事会 令和4年3月14日(月)

# 協議事項

- 1 令和4年度事業計画について
- 2 令和4年度収支予算について
- 3 寄付金規程について
- 4 令和4年度看護研修助成金の申請について
- 5 令和4年度委員会委員・地区支部役員の承認について
- 6 令和4年度看護研修会館施設整備積立金資金運用 執行方針及び運用計画について
- 7 役員賠償責任保険の更新について
- 8 愛知県看護協会人事案件について 協議事項1~8は、承認された。

# 報告事項

- 日本看護協会理事会報告(2月24日·25日開催)
- 2 令和4年度日本看護協会長表彰
- 令和3年度看護のこころ募金実施結果
- 4 三職能集会(2月16日開催)
- 全国職能委員長会報告(3月3日開催)

# ●令和4年度 第1回 理事会 令和4年4月18日(月)

# 協議事項

- 1 定款の改正について
- 2 愛知県看護協会長表彰候補者の推薦について
- 3 愛知県看護協会名誉会員の推薦について
- 4 委員会・地区支部役員の最終承認について
- 5 看護のこころ募金助成要綱の変更について
- 6 ウクライナの人道危機に対する国際看護師協会 (ICN)の募金活動について

協議事項1~6は、承認された。

## 報告事項

● 愛知県看護協会事業報告(1月~3月)

# −Ⅲお知らせⅢ⊦



# 令和4年度 教育研修が変わります。

- ●研修申込期間の延長:先着受付とし(一部を除く)、研修開催日1週間前まで延長
- ●補完研修:施設申込に変更
- ●「看護補助者の活用促進のための看護管理者研修」: 5月~9月まで 10 回開催
- ●ハイブリッド方式の研修:オンラインでの参加が困難な場合は、協会でも受講可能
- ●図書室の「蔵書検索」: HP からできます。ぜひご利用ください。

※詳しくは HP または研修サイトをご覧ください。

# 編·集·後·記

別れと出会いの季節を経て、みなさまいかがお過ごしでしょうか。すでに新しい環境に順応された方、少し疲れを感じておられる方、様々だと想像します。

広報委員会のメンバーも大きく入れ替わり新たな風が吹いております。今年度も変化する看護場面や生活に寄り添った変わらない看護場面など、ホッとしたりやる気が出たり、感情をくすぐる協会だよりをお届けします。お楽しみに!!

公司 公報委員 加藤 衣津美



表紙の写真は、名古屋城天守閣を背景にした「藤の回廊」からの眺め。名古屋城周辺では季節にあわせてたくさんのお花を見ることができ、4月末から5月初旬にかけては名城公園の「藤の回廊」がとても人気です。慣れ親しんだ風景の中にも楽しい変化や、季節の彩りを感じてのんびりと穏やかに過ごしていきたいものですね。

会員数 40.276人(令和4年3月31日現在)(保健師602人/助産師1,603人/看護師37,311人/准看護師760人)